

小林さん(南箕輪村)奨励賞

シヨパン国際ピアノコンクアアジア大会

南箕輪村南部小学校4年の小林なゆ花さん(10)が、1月8日に神奈川県昭和音楽大

学で開かれた「第25回シヨパン国際ピアノコンクール in A S I A」のファイナルとなるアジア大会小学3、4年生の部で奨励賞に輝いた。長野地区



アジア大会奨励賞の喜びを語り、さらなるステージに向けて意欲を語る小林なゆ花さん

大会、全国大会とともに金賞に輝いて進出した夢の舞台での入賞を喜び、3、4日に東京で開かれる日本パツハコンクールでは金賞を目指している。小林さんは249人がエントリーした全国大会で上位23人の金賞に入り、3日後のアジア大会に進んだ。精鋭110人と競い合い、クロゲルスキの「シヨパン風マズルカホ短調」を堂々と演奏した。今まで2度全国大会には進んだが、アジア大会は初めての挑戦。「出るだけでなく賞も獲れてうれしい。(地区大会から始まった)このコンク

ールの中で一番うまく弾けた」と本番を振り返る。

五つ年上の姉の姿を見て、3歳の時に村内のピアノ教室に通い始めた。平日は3、4時間、休日は7時間ほど練習に打ち込む。「友だちと話すように会話できること」と鍵盤で奏でることの魅力を語り、

将来の夢は「ピアノの先生になること」と目を輝かせる。

1月30日には村役場を訪れて、藤城栄文村長と清水闍成教育長に受賞を報告。直前に迫ったパツハコンクールへの意気込みも語り、さらなるステージへ向けて意欲をみなぎらせた。(勝村誠之)